

頸動脈内膜剥離術後の心不全と術前心機能との関連性

1. 研究の目的

頸動脈狭窄症は全身性動脈硬化症の一症状として近年増加している疾患であり、この病変に対する頸動脈内膜剥離術は広く行われている治療です。頸動脈狭窄症患者は心血管も動脈硬化により障害を受け、心機能が低下していることがあります¹⁾。したがって頸動脈内膜剥離術の周術期は脳出血、脳梗塞など脳神経合併症以外に、心不全の合併にも注意が必要です。今回、われわれは頸動脈内膜剥離術後の心不全発症の有無と術前的心機能評価との関連性を後ろ向きに検討しました。

ホームページ上に、本研究実施について公開することで、ご質問、対象を希望されない場合などの問い合わせができるようにいたします。

2. 対象

福岡大学病院において2012年4月1日から2017年6月30日に頸動脈内膜剥離術を受けられた患者を対象にします。対象となることを希望されない方は、下記連絡先までご連絡下さい。

3. 研究期間

研究を行う期間承認日より2018年3月31日まで

4. 研究の内容

全身麻酔下に頸動脈内膜剥離術を受け、術後SICUで管理した症例を選択し、後ろ向きに研究します。術後の心不全発症の有無を調査します。心不全の診断は胸部X線で肺血管周囲への浮腫像（医師2名により確認）、術後の心臓超音波検査、治療（利尿薬、酸素投与）の有無により行います。患者背景、術前的心機能評価、周術期の水分管理等を調査し、心不全との関連を統計学的に検討します。

この研究は後ろ向き研究であり、対象患者さんに生じる負担ならびに予測されるリスクはありません。

5. 個人情報等の保護

研究責任者と研究者は個人情報保護法を遵守し、患者さんの個人情報の保護に努めます。研究対象者のデータは匿名化、暗号化することで、個人が特定されることを防止します。安全管理のため、インターネットに接続していないパソコンに個人情報を保存します。

研究終了後、学会発表および学術誌への論文投稿を行う際には、患者さんを特定できる情報は一切含まれません。

6. 研究機関

実施機関：福岡大学病院

連絡先：〒814-0180 福岡県福岡市城南区七隈 7-45-1

電話：092-801-1011（代表）

FAX：092-862-8200

担当者：重松研二

研究責任者：福岡大学医学部麻酔科学

教授 山浦 健

研究者：福岡大学病院手術部

講師 重松研二